

百十四グループ（連結ベース）の営業の概況

当中間連結会計期間の業績

当中間連結会計期間（2023年9月中間期）

当中間連結会計期間の経済環境につきましては、「当行（単体ベース）の営業の概況」（本誌1頁）に記載のとおりですが、このような経済環境のなか、百十四グループは、銀行業務を中心として地域に密着した営業活動の展開を図るとともに、リース業務などの金融サービスの提供につとめました結果、当中間連結会計期間の業績は以下のとおりとなりました。

○預金……当中間連結会計期間末の預金残高は、個人預金及び公共預金が増加しましたが、法人預金が減少したことにより、前連結会計年度末比462億円減少して4兆7,344億円となりました。

○貸出金……当中間連結会計期間末の貸出金残高は、公共向け貸出金が減少しましたが、法人向け及び個人向け貸出金が増加したことにより、前連結会計年度末比607億円増加して3兆4,230億円となりました。

○有価証券……当中間連結会計期間末の有価証券残高は、債券の増加などにより、前連結会計年度末比952億円増加して1兆1,398億円となりました。また、当中間連結会計期間末の「その他有価証券」の差引評価益は、前連結会計年度末比114億円増加して323億円となりました。

○損益

〈経常収益〉

当中間連結会計期間の経常収益は、海外金利の上昇を主因とした貸出金利息の増加により資金運用収益が増加しましたが、金融派生商品収益及び外国為替売買益の減少によるその他業務収益の減少などにより、前中間連結会計期間比44億6百万円減少して400億78百万円となりました。

〈経常費用〉

当中間連結会計期間の経常費用は、預金利息及び借入金利息の増加により資金調達費用が増加しましたが、国債等債券売却損の減少によるその他業務費用の減少などにより、前中間連結会計期間比31億9百万円減少して326億8百万円となりました。

〈経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益〉

以上の結果、当中間連結会計期間の経常利益は、前中間連結会計期間比12億96百万円減少して74億70百万円となり、親会社株主に帰属する中間純利益は、前中間連結会計期間比10億12百万円減少して49億57百万円となりました。

セグメント情報等

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当行グループは、銀行業務を中心に、連結子会社においてリース業務をはじめとする金融サービスに係わる事業を行っており、当行及び企業集団を構成する個々の連結子会社がそれぞれ事業計画等を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当行グループは、当行及び個々の連結子会社を基礎とした業務別のセグメントから構成されており、「銀行業」及び「リース業」の2つを報告セグメントとしております。なお、「銀行業」は、預金業務、貸出業務、有価証券投資業務、為替業務等を行い、「リース業」は、連結子会社の百十四リース株式会社において、リース業務等を行っております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

なお、報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部経常収益は、第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前中間連結会計期間（2022年9月中間期）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	合計	調整額	中間連結財務諸表計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	39,667	3,768	43,435	1,048	44,484	—	44,484
セグメント間の内部経常収益	298	299	598	1,715	2,313	△2,313	—
計	39,965	4,068	44,033	2,764	46,798	△2,313	44,484
セグメント利益	8,169	194	8,363	828	9,191	△425	8,766
セグメント資産	5,617,352	26,330	5,643,683	22,919	5,666,602	△30,174	5,636,428
セグメント負債	5,362,687	21,268	5,383,955	8,993	5,392,948	△27,308	5,365,639
その他の項目							
減価償却費	1,319	67	1,386	140	1,527	21	1,549
資金運用収益	23,057	143	23,201	50	23,252	△321	22,930
資金調達費用	2,323	33	2,356	13	2,370	△46	2,323
特別利益	0	28	28	—	28	△2	26
(固定資産処分益)	0	28	28	—	28	△2	26
特別損失	63	0	63	2	65	0	66
(固定資産処分損)	37	0	37	2	39	0	39
(減損損失)	26	—	26	—	26	—	26
税金費用	2,495	41	2,537	261	2,799	△41	2,757
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	813	2	815	63	879	34	913

- (注) 1.一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と中間連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。
 2.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クレジットカード業及び信用保証業等を含んでおります。
 3.「セグメント利益」「セグメント資産」「セグメント負債」「減価償却費」「資金運用収益」「資金調達費用」「特別利益」「特別損失」「税金費用」「有形固定資産及び無形固定資産の増加額」の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。
 4.セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間（2023年9月中間期）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	中間連結財務諸表計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	35,558	3,623	39,182	896	40,078	—	40,078
セグメント間の内部経常収益	336	260	596	1,812	2,409	△2,409	—
計	35,894	3,884	39,779	2,709	42,488	△2,409	40,078
セグメント利益	6,875	230	7,106	702	7,808	△337	7,470
セグメント資産	5,730,751	26,591	5,757,343	23,892	5,781,236	△28,076	5,753,159
セグメント負債	5,455,825	21,032	5,476,858	9,374	5,486,232	△25,186	5,461,046
その他の項目							
減価償却費	1,185	88	1,274	147	1,421	22	1,444
資金運用収益	25,553	208	25,762	81	25,843	△328	25,515
資金調達費用	6,991	29	7,021	11	7,033	△37	6,995
特別利益	2	18	20	—	20	△3	17
(固定資産処分益)	2	18	20	—	20	△3	17
特別損失	174	—	174	9	183	—	183
(固定資産処分損)	29	—	29	9	38	—	38
(減損損失)	145	—	145	—	145	—	145
税金費用	2,087	46	2,133	224	2,358	△11	2,347
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,398	—	1,398	147	1,545	49	1,594

- (注) 1.一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と中間連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。
 2.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クレジットカード業及び信用保証業等を含んでおります。
 3.「セグメント利益」「セグメント資産」「セグメント負債」「減価償却費」「資金運用収益」「資金調達費用」「特別利益」「税金費用」「有形固定資産及び無形固定資産の増加額」の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。
 4.セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

【関連情報】

前中間連結会計期間（2022年9月中間期）

1.サービスごとの情報

(単位：百万円)

	貸出業務	有価証券投資業務	リース業務	その他	合計
外部顧客に対する経常収益	15,944	9,675	3,768	15,095	44,484

(注) 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2.地域ごとの情報

(1) 経常収益

 当行グループは、本邦の外部顧客に対する経常収益に区分した金額が中間連結損益計算書の経常収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

 当行グループは、本邦に所在している有形固定資産の金額が中間連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3.主要な顧客ごとの情報

 特定の顧客に対する経常収益で中間連結損益計算書の経常収益の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

当中間連結会計期間（2023年9月中間期）

1.サービスごとの情報

(単位：百万円)

	貸出業務	有価証券投資業務	リース業務	その他	合計
外部顧客に対する経常収益	19,650	8,122	3,623	8,682	40,078

(注) 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2.地域ごとの情報

(1) 経常収益

当行グループは、本邦の外部顧客に対する経常収益に区分した金額が中間連結損益計算書の経常収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

当行グループは、本邦に所在している有形固定資産の金額が中間連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3.主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する経常収益で中間連結損益計算書の経常収益の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前中間連結会計期間（2022年9月中間期）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	銀行業	リース業	計		
減損損失	26	—	26	—	26

当中間連結会計期間（2023年9月中間期）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	銀行業	リース業	計		
減損損失	145	—	145	—	145

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。